神埼市

# 二十歳のつどい

## 決意新たに踏み出す

## 人生の節目20歳、気持ち新たに

二十歳のつどいは実行委員会が運営しました。實松市長や来賓からお祝いの言葉を受け、実行委員の八谷晟歩（せいほ）さんが「自分の行動に責任をもつ」「感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人になる」などと誓いの言葉を述べました。

また、実行委員が作成した小・中学校時代の思い出をまとめたスライドショーや恩師からのメッセージ、小学校区ごとの記念撮影もあり、参加者は和やかに歓談していました。

▲式辞を述べる
實松市長

▲代表の謝辞を述べる
宮地 咲季(さき)さん

# かんざきフォトトピックス

11/26
世界的なジャズミュージシャンのワークショップ
## 中学生が生演奏に感動

「中学生のためのジャズ音楽のワークショップ」がはんぎーホールで開かれ、中学生約80人が世界的に活躍するジャズミュージシャンの演奏を聴きました。

市は情操教育として能楽教室を行っていますが、コロナ禍で開催できない時期があり、機会を失っていた千代田中学校と脊振中学校の1年生が招かれました。

日本、アメリカ、イタリア、ポルトガルの4人のミュージシャンが即興を交えて演奏し、その後は生徒たちが質問をしたり、楽器に触れたりしました。

生徒たちは初めての体験に「迫力があった」「すごかった」と感動していました。

11/30
かんざき歴史散歩めぐみの城原川を歩く
## 市民ツアーで歴史や防災学ぶ

神埼市水の郷再生市民会議が市民ツアー「かんざき歴史散歩 めぐみの城原川を歩く」を開催し、約20人が参加しました。

午前中は城原川沿いを散策しながら、同会議委員から水にまつわる歴史や文化についての説明を受け、午後からは「神埼市の水防災」をテーマに、城原川の現状や課題、防災に関する心構えなどを学びました。

参加者からは「城原川に関する歴史や防災上の課題を聞くことができて大変有意義だった」などの声が聞かれました。

12/13
山下幸子さん、川原由江さん
## 母子保健推進活動で全国表彰

母子保健推進員の山下幸子さん（千代田町乙南里：写真左）と川原由江さん（神埼町竹原：写真右）が永年勤続と活躍を認められ、母子保健推進会議会長表彰を受賞されました。

お二人は、長年にわたり母子保健に関するさまざまな役職を担い、積極的に子育て世代と関わりながら、活動に尽力されています。

今後も地域で安心して子育てができるよう、子育て世帯と行政との橋渡し役となり、親子に寄り添いながら精力的に活動されることを期待しています。

12/17
神埼小４年生が人権の花運動
## 手話サークルや福祉施設に鉢花贈る

人権の花運動は、協力して花を育てることで命の大切さを実感し、その中で優しさと思いやりの心を身に付けてもらおうと行われている取組で、今年度は神埼小学校の４年生を対象に実施しました。

児童たちは、10月に法務局や人権擁護委員協議会から配布されたビオラやパンジーなどの花苗を協力して育て、今回、花いっぱいに咲かせた鉢を地元の手話サークルや老人福祉施設へ贈りました。

子どもたちは「命の大切さを考え、思いやりの心を育みながら大切に花のお世話をしてきました」と話しました。

12/19 3小・中学校で租税教室を開催

## 税の役割と必要性を学ぶ

脊振中学校3年生、脊振小学校と千代田中部小学校の6年生を対象に租税教室を開催しました。

この教室は、次代を担う子どもたちに税の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的に市職員が講師となり、毎年実施しているものです。

授業では、税の役割と必要性を学んでいくアニメーションの鑑賞や、1億円の使い道を話し合うミニ議会などを行いました。

生徒、児童からは「税金は私たちの生活に必要なもので、大切さがよくわかった」などの感想がありました。

12/21 かんざきクリスマスマーケット

## グルメやバブルショーで聖夜気分

神埼発のグルメやショップを楽しめる「かんざきクリスマスマーケット」が、神埼町の長崎街道門前広場で開かれました。

町内の飲食店などでつくる実行委員会が初めて開催。会場には高さ約5mのクリスマスツリーが飾られ、バンド演奏やキッズダンス、シャボン玉を使った「ナイトバブルショー」で雰囲気を盛り上げる演出も。幻想的な光景に、訪れた人たちは“聖夜”の気分を味わっていました。

1/5 神埼市消防団出初式

## 地域の安全を守る決意新たに

神埼市消防団の出初式が神埼中央公園グラウンドで開かれ、厳寒のなか消防団員427人が参加して、地域の安全を守る決意を新たにしました。

山口知事も来賓で出席。殉職団員への黙とうを捧げた後、分列行進などを行い、重松大介団長が「今年も迅速かつ安全に消火活動が行えるよう訓練を充実させていく」と訓示しました。

式終了後は、団員が締め込み姿で伝統の「馬簾(ばれん)回し」を披露。色とりどりの水を纏(まとい)めがけて放水し、士気を高めました。

1/16 全日本ジュニア新体操選手権大会

## 神埼ジュニア新体操クラブが2連覇

市内を拠点に活動する神埼ジュニア新体操クラブが、12月に東京で開催された全国大会で2連覇を達成し、市長を表敬訪問しました。

木原正憲監督は優勝について「自分たちの演技がしっかりできていた」と語り、キャプテンの塚本瑞樹さんは「昨年度も優勝したので、2連覇をするためチーム一丸となり頑張りました」と話しました。

市長は「今後もぜひ3連覇、4連覇を目指し頑張ってください」と激励しました。